

グループ 12

講演をうけての感想	苫小牧市の現状はどうか	孤立を防ぐために現在実践していること	孤立を防ぐための課題は何か	課題を解決していくための方策	「やさしい街づくり」のため自分では何が出来るのか
<p>・ 地域の人に発信していき</p> <p>・ 市内の7-8人、物を置く、(市内距離)</p> <p>・ 介護 介護1でサービス外土庫が心配。要介護前に準備したと云う。要介護を介しては、介護あり。取組がよいと云う。若い人にも教えている。(役割を地域に還元してほしい)</p> <p>・ 地域の中に入っていき</p> <p>・ VTR どのくらいと共感している人が多。苫小牧でも共感している。日本全国どこでも共感している。苫小牧市がどうと云うていくか。新と老いが言、共感している場をTop1にしたい。</p>	<p>・ 民生委員、保健士、個人訪問、市内距離予防</p> <p>・ 介護 介護1でサービス外土庫が心配。要介護前に準備したと云う。要介護を介しては、介護あり。取組がよいと云う。若い人にも教えている。(役割を地域に還元してほしい)</p> <p>・ 介護 介護1でサービス外土庫が心配。要介護前に準備したと云う。要介護を介しては、介護あり。取組がよいと云う。若い人にも教えている。(役割を地域に還元してほしい)</p>	<p>・ いろんな市をやろうとしてもでてこた、人が困る。引継ぎが難しい。無理をさせない。刈れる事が大事。</p> <p>・ 親の年金あてにて、介護費の目的で困ると同居が困る。</p> <p>・ 施設にいてる中でFの施設や身体相談にて、代行申請等に力を入れる。</p> <p>・ おおしくても認知した人も多く、何回か市内に訪問する人もある。民生委員と連携してCMと連携を回すようにしている。</p> <p>・ 孤立を防ぐ為に民生委員と連携して、中心が強い。</p> <p>・ CMとして地域の民生委員と顔合わせを行う。</p> <p>・ 同じ市民協会の会があり、CMの活動も地域に根付いている。</p> <p>・ CMが入らな範囲に抑えて民生委員と連携して、問題の共有が必要。情報交換などの連携も大事。今後増える必要になる。</p>	<p>○ 家族との連携が上手くいかないと初見薄。</p> <p>○ 理解する為の方法はどうするか？</p> <p>・ 郵便受けに年報を入れ、身元引受け者に報告するしている。</p> <p>・ 逆に町内会を家族から切り離す家には心配。</p> <p>○ 個人情報からネグティブな情報、嫌いなところ、不願、出張、民生委員 = 生保と考える人もい。民生委員市内拒否の人もある。回数訪問していく。共感大事。</p> <p>○ 拒否の子人は難しい。</p>	<p>・ 拒否する人は回数訪問していく。</p> <p>・ 孤立を防ぐ為にお互いに問題を共有化して、連携を行う。</p>	<p>・ 町内会に頼りすぎない。</p> <p>・ 高齢者に目を向けて、即ちおける。ではおける。ホフンア伊高者。アリカ、(視点を変える)</p> <p>○ 二から支えらる → 支えらるるへ自分も必要と云うてくる感じ(おける)。</p> <p>・ 偏愛なことと後述する場、町内会における。</p> <p>○ 外出出来た人の受け皿が必要。</p>